



オブセコンテンポラリー vol.0 境内アート選抜作家展

2007,4/7 sat. - 5/8 tue.

かつて葛飾北斎が晩年江戸から通い、数々の銘品を残した北信濃の街、小布施。現在でもこの街には外からの風をおおらかに受け入れる気風があります。その小布施の西に位置する曹洞宗の古刹「玄照寺」。戦後50年間、若い植家集に支えられて続けてきた「苗市」再興をキーワードに2004年から始まったアートフェス「境内アート“苗市” in 玄照寺」。4月半ば。春遅い北信濃でもそろそろ桜舞う頃、禪寺の境内にて“美日常”をテーマに様々なモノツクリたちが集います。今回は4年目を迎え、参加者の中から主にファインアートの作家を選抜し、縁日をはさんで1ヶ月にわたり20名のアーティストの作品を紹介いたします。



今野央輔 Osuke IMANO
 画家◎1936／横浜生まれ 1956／東京芸術大学油画科入学 1958／東京芸術大学・安宅賞受賞 1959／東京芸術大学・大橋賞受賞 1960／東京芸術大学油画科卒業／卒業制作賞い上げ／(株) ライトパブリシティ入社 1963／今野デザイン設立 1968／作簡／絵画制作を始める個展 1960／版画展(養浩堂画廊、東京)／版画展(横浜画廊、横浜) 1995／村松画廊(東京)／ダビッド・ギャラリ-・ギャラリー(東京) 1996／村松画廊(東京) 1997／葎房(東京)／ギャラリーオキユス(東京)／ダビッド・ギャラリ- (東京)／始弘画廊(東京)／スペースTRY (東京) 1998／村松画廊(東京) 1999／葎房(東京)／三条ギャラリー(京都) 2000／始弘画廊(東京)／ギャラリー-SOL(東京) 2001／三条ギャラリー(京都) 2002／始弘画廊(東京) 2003／葎房+Space kobo & Tomo(東京) 2005／葎房(東京) 2006／ギャラリー-21+葉(東京) 2007／葎房(東京) 他グループ展多数
 長野県在住◎2007境内アート初参加



瀬辺佳子 Keiko SEBE
 彫刻家◎1968／東京藝術大学彫刻科卒業 1970／同大学院卒業 1971／新作展出品 後現在にいたるまで毎年出品 1976／グループ展「伍の会」(文芸春秋画廊 ～1985) 1985／個展(ぎやらりーあい) 1989／「社会(あゆみかい)」出品(千葉独立美術館)後現在にいたるまで毎年出品 1990／個展(ギャラリー創) 1992／新作展 新作家賞受賞 1993／彫刻新鋭展93(ギャラリーせいほう) 1998／個展(あゆみ画廊) 2001／個展(セッション・ハウス) 2002／個展(アートホール) 2003／新作展 新作家賞受賞／彫刻新鋭展(ギャラリーせいほう)／新作展会員推薦 同会員となる／文化庁選抜展出品 2004／個展(ギャラリー141)／小林裕紀・瀬辺佳子二人展(ギャラリー香月) 2005／個展(ギャラリー・イン・ザ・ブルー)／UW-GreenBay West Bed Art Museum 出品2006 個展(大阪新居画廊)／個展(東京画廊たん) 現在、新制作会員
 千葉県在住◎2007境内アート初参加



本濃研太 Genta HONNOU
 彫刻家◎1978／北海道生まれ◎個展) 2005／H.P.DECO 表参道 2006／本濃研太猫猫商店(Za ギャラリー有明)／猫のいるところ(ギャラリー-horizon 京都)／京都クラフトセンター 2007／それには理由がある(マキマサル・横浜 アースセッション 2002／京都) 専出展(グループ展など) テレビ東京「たけしの誰でもピカピカ」アートバトル出場 2006／「TOKYO PET SHOW 2006」アニマルアートギャラリー(幕張メッセ)／第7回 Spairal Independent Creator Festival(青山スパイラル)／uplink market(渋谷/丸の内)／GOOD DESIGN GOOD SENSU(ガーデンアワード) 銀座(受賞歴) 2003／Tama Art Competition 2003大賞／アクリルアワード2003入選 2004／第22回 グラフィックアート「ひとつぼ展」入選／東京コンペ#1佳作 2005／群馬青年ビナンターレ'06 入選／東京コンペ#2入選 2006／東京コンペ in Cow parade 2006入選／東京都在住◎2007境内アート初参加
 http://www.geocities.jp/genhonnoh



櫻井三雪 Miyuki SAKURAI
 彫刻家◎1968／長野県生まれ 1990／木を素材に立体作品の製作を始める 1995／グループ展・個展で発表を始める
 長野県在住◎2007境内アート初参加



岡野里香 Rika OKANO
 陶芸家◎(個展) 1994／Galerie412(表参道) 1995／ゼフィール(大宮) 1996／ギャラリー-玄海／Gallery SIND(西荻窪/97) 2000／空間會白子(都立大学) 2001／Gallery創庫(四日市)／画廊 堀(大阪) 2002／無垢屋(代官山/OO)／いまあじふ(足利/99)／ギャラリー・ブス(銀座/98,99) 2003／GALLERY安藝野(青森)／ぎやらりーかのこ(大阪) 2004／GALLERY I(高円寺)／Atelier Kika(鎌倉)／かっここ・あーとギャラリー-2(京橋/O1)／galerie oo(大阪) 2005／工房ART SPACE(西荻窪)／器スタジオTRY(中井/O3.01)／ろぼ屋(新湯/O3) 2006／GALLERY I-pithricca(高円寺)／Atelier Kika-pithricca(鎌倉) 他グループ展多数(入選) 朝日現代クラフト95/96/O2/BONSAIの個展02/日本クラフト95/花の器ビエンナーレ96/現代陶芸【めん鉢】展96/札幌芸術の森クラフト96/横浜美術館市民のアート工講師/長野県在住◎2005,2007境内アート参加 /http://www17.plala.or.jp/rika-okano/



ノモトヒロシ Hiroshi NOMOTO
 造形作家◎1956／群馬県生まれ 1979／名古屋芸術大学卒業 1984-89／HOT ART展(前橋・キリン館) 1985-86／向こう側の見える作品展(館林) 1987／海馬空間展(東京都立美術館) 1988／三人展(銀座・ギャラリーQ) 1990／現代美術の具体的表現展(前橋) 1993／CROSSING ART展(館林)／MINOWA現代美術展(箕郷町) 1997／個展-Litmas-Skip(前橋・シャンティエ)／個展-Tanagokoro(高崎・大和屋)／個展(高崎・大和屋) 2001／三人展(玉川高島屋・クリエイティブ工房) 2002／個展-PLASTIC TRIP./ (定刻・いまあじふ)／二人展(横浜・ぎやらりい安土) 山崎人と作家たち展／(恵比寿・ギャラリーゆい) 2003／森でゆれる二人展(軽井沢・うつわ春や) 2004／個展(四日市・無名舎) 2005／二人展 GAP。(定刻・いまあじふ)／二人展 back yard cafe(軽井沢・春や) 2006／PITHRICA-ほおづきの部屋(高円寺・ギャラリーI)／PITHRICA(鎌倉・アトリEIKKA)／個展(中井・器スタジオTRY)／長野県在住◎2004,2006,2007境内アート参加



神林學 Gaku KANBAYASHI
 彫刻家◎1946／東京生まれ 18才で彫刻家を志す。人体をテーマとして素材も多種類にて表現。1976年より個展：グループ展、コンクール等に作品の発表を開始。1986,87,90／彫刻展 ギャラリー-21(東京) 1988～06／毎年彫刻展 うつわ菜の花(小田原) 1992,94,96,98,00,06 ギャラリーオカバ(東京) 他、個展・グループ展多数。東京在住◎2005,2006,2007境内アート参加 オブセコンテンポラリー実行委員



カミジョウミカ Mika KAMIJOU
 画家◎1996年・先天性疾患の入院治療中に絵を描き始める 1998／アートパラリンピック公募展 街かど賞受賞 2001／働く障害者フォト・絵画コンテスト 日本障害者雇用促進協会会長賞 特別賞受賞2002／第9回「アート村」夢のデザイン大賞／アートフル賞受賞 2003／東京世田谷美術会 区民ギャラリー「大賞」／アートフル賞受賞 2004／NHKハート展2004/1に参加 全国で巡回 2004／軽井沢町[KIGI Gallery & Studio]にて初個展開催 2005／富士見町「びあーの」にて個展開催 2006／PATER'S GALLERY COMPETITION 2006有山達也賞 予選突破 他グループ展に多数
 長野県在住◎2007境内アート初参加
 http://kkmkmm.hp.infoseek.co.jp/



二ノ宮裕子 Yuko NINOMIYA
 彫刻家◎東京生まれ 女子美術短期大学造形彫塑教室卒業 女子美術短期大学専攻科造形専攻修了 1981～/二科展出品(特選・竹の台賞・会友賞受賞) 1982／絵・彫刻二人展(ギャラリーヤコブ ～1983) 1985 第1回現代具象彫刻展入選／個展(ギャラリーしんたく) 1990、目黒区立美術・書・1990(～1998) 1992／第25回文化庁現代美術選抜展 1993／個展(新井画廊) 1999／彫刻4人展(ギャラリー・ニケ ～2000) 2000／いま具象彫刻がおもしろい～様々な形と技～(朝日アートギャラリー) 2001／「様々な表現」SCULPTURE-concrete～(朝日アートギャラリー) 2003／三様のかたち(福原画廊)／第4回CWA国際交流美術展(世田谷美術館) 2004／個展(福原画廊) 2005／府中ビエンナーレ運動企画「接近展」(府中市美術館)／かたち・ふれあい展(実践女子短期大学)／トルン展(小田原/菜の花) 2006／学展(ギャラリーユニグラフィ) 二科会会員／女子美術大学立休アト学科非常勤講師/ノンタンデザイン研究所非常勤講師 東京在住◎2006,2007境内アート参加



伊集院真理子 Mariko IJUN
 陶芸家◎1971／女子美術大学卒業 1975／神奈川県平塚市出陣に築窯(個展) 1998/新宿 夢や小田原 うつわ菜の花 1999/厚木 ギャラリー-柳川 2000/白目 千種画廊/世田谷 GALLERY GALA 2001 山梨 夢千里/横浜 アースセッション 2002/京都 銀座 たち吉/新宿 伊勢 木 マダングラッド展 2003/新宿 伊勢崎/高知 アルコギャラリー&花と器SUMI 2004/長野 エコールドまつしる 2005/世田谷 GALLERY GALA/長野 座・アッシュアール/小田原 うつわ菜の花他各地にて個展・グループ展多数(出品) 1984 ハンガリー「JAPAN NAPOK」1985 ハンガリー「国際陶芸シンポジウム」参加 選致(オブジェ制作 シュクロウス美術館収蔵) 1986 東京・茨城・長野「ハンガリー現代美術展」1994 平塚「湘南市民美術館」真理子まんだら」招待出品2001 小田原「楽市楽座」真理子まんだら」招待出品2002 韓国 陶芸シンポジウム2004 アメリカ インターナショナル ウッドファイアー カンパレン参加・出品／神奈川県在住◎2006,2007境内アート参加



たかはしびわ Biwa TAKAHASHI
 画家◎1972／東京都生まれ 1997／武蔵野美術大学油絵学科卒業(個展) 2001／童心を失った無垢の子供達のための童画(ギャラリーアートロード 上田) 2002／テッサン展(佐久総合病院内ふれあいギャラリー) 2003／びわびわアミューズメントパーク展(ギャラリー-ツープラス 銀座) 2004／「春」(びすとろくーて佐久) 2005／カーアート展(びすとろくーて 佐久)／版画とドローイング展(平安堂長野店Cafe「へべじ」)／たかはしびわ展(KIGI Gallery&Studio軽井沢) 2006 版画展(時コレクション銀座)「VIVA BIWA!! WORKS」(ナノグラフィカ 長野)／今日からベンギン(GALLERY olive eye 銀座) 他個展・グループ展多数(受賞) 1996、第1回北の大地展ビエンナーレ/NHK帯広局長賞(奨励賞) 1997／「小さな絵画大きな心」展賞状授 2000／第1回武井武雄記念日本画壇大賞展審査員特別賞 2003／ハートランド 軽井沢ドローイングビエンナーレ 2005／絵の現在第34回選抜展山菜水明賞
 長野県在住◎2004,2005,2007境内アート参加



縣孝二 Kouji AGATA
 建築家◎1951／長野県生まれ 1975／大学(建築専攻)卒業後就職せず画家を志す 1977、芸大油絵科を受験するが失敗し一時帰郷 同年夏 地元建設会社に中途入社 2001、建築設計の魅力に目覚め独立、設計室「空」を設立し今日に至る(主な作品) 劇場：キキ・アライク・アートホール(東京都) 美術館：「無言館」(上田市) 商業施設：アイビースクエア(長野市) 住宅：凸(デコ)やんハウス(長野市)
 長野県在住◎2004,2005,2006,2007境内アート参加
 オブセコンテンポラリー実行委員



岡本直子 Naoko OKAMOTO
 染織家◎多摩美術大学染織科卒 1980年より作品発表。現在に至る。個展・グループ展多数
 神奈川県在住◎2006,2007境内アート参加



亀田智子 Tomoko KAMEDA
 画家◎女子美術短期大学造形生活デザイン卒業 NHK美術センター勤務(チーフデザイナーをへて円満退社) 文化女子短期大学染織工芸科講師 1986～1990 東京造形大学テキスタイル・デザイン専攻(四本貴造造形大学名誉教授に師事) 1989／大倉山記念館ギャラリー(グループ展) 1989～2006／新作展 1991～1997／神奈川女流美術年展 1994／個展 銀座 ルナ画廊 1995／個展 銀座 村松画廊 1998／世田谷美術館ギャラリー(グループ展) 1999／ORIE(グループ展) 2002／銀座 月光荘(グループ展) 2003／新宿 オゾン(グループ展) 2004／銀座 マキマサルファインアーツ(グループ展) 2006／銀座 るたん(グループ展)／益子 6ギャラリー(グループ展)
 神奈川県在住◎2007境内アート初参加



石垣むつみ Mutsumi ISHIGAKI
 画家◎東京生まれ 文化学院デザイン科・芸術科終了(個展) 1993／ギャラリークラマ(目黒) 1995／空想ガレリア(銀座) 1996／空想ガレリア(銀座) 1997／空想ガレリア(銀座) 1998／ギャラリー-砂絵トモス(白根橋) 2000／空想ガレリア(銀座)／ギャラリー-YORI(上原) 2001／ギャラリー-砂絵トモス(白根橋) 2002／空想ガレリア(銀座)／ギャラリー-YORI(上原) 2003／ギャラリー-砂絵トモス(白根橋) 2004／ギャラリー-YORI(上原)／ギャラリー-船(銀座)／ギャラリー-トモス(武蔵小倉井) 2005／ギャラリー-F分-0(駿河台) 2006／T・FACTORY(立花) 2007／ギャラリー-YORI(上原) (団体展) 1994～2006 モダンアート協会に所属 毎年出品
 東京都在住◎2007境内アート初参加



生江葉子 Yoko NAMEAE
 画家◎1950／神奈川県生まれ 1972／武蔵野美術短期大学油絵専攻科修了 1975／近代美術協会出品(75/会員'95/委員'01/退会)(個展) 1995,97／銀座アートプラザ 1999／銀座ギャラリーゴトウ 2001／ギャラリー-YORI(代々木上原)／ギャラリー-ゴトウ 2002／銀座 汲美 2003／京橋汲美 2004／ギャラリー-7C(中目黒) 2005／日本橋 汲美 2006／うつわ菜の花(小田原) 2007／ギャラリー-y(小平)／ギャラリーオカバ(予定)
 東京都在住◎2007境内アート初参加



大島美枝子 Mieko OSHIMA
 1946／大阪生まれ 1970／武蔵野美術大学彫刻科卒業 1971／日本アンデパンダン展(以後毎年出品) 1984／日美彫刻展(以後毎年出品) 1984／個展(銀座アートホール) 1997／個展(銀座ぎやらりーしらの) 2001／TAC(多摩現代美術家会議)アートプロジェクト展(以後毎年出品) 2003／個展(銀座ガレリア・グラフィカ) 他グループ展多数



上楽寛 Hiroshi JORAKU
 画家◎1949／富山県生まれ 1974／武蔵野美術大学油絵科卒業 1976／武蔵野美術大学大学院 美術専攻 修士課程終了(個展) 1980／スルガ台画廊 1995／ギャラリー-繪 1997／ギャラリー-繪 1998／ギャラリー-繪 1999／ギャラリー-魚友 2000／ギャラリー-繪 2002／Gariety十字星／ギャラリー-繪 2003／かねこ・あーとギャラリー 2004／かねこ・あーとギャラリー 2006／かねこ・あーとギャラリー (グループ展) 1995～2005／「時のかたち」横浜市民ギャラリー 1999／「版による」ギャラリー-繪 2001～2003／「波動展」福島県矢吹町ふるさとの森芸術村企画展示室 2002／「VISAGE」ギャラリー Y&Y 青山 2001～2002／「韻展」ギャラリー-La Mer 2003／「日中友好交流展」山形県立美術館 2004／「川島展」裸体テッサン展」ギャラリー-La Mer 2003～2005／「春夏秋冬展」ギャラリー・セイコウドウ 2006／「色と形の探求」スペース・アルテミス
 神奈川県在住◎2007境内アート初参加



Visual Echo VE-Quartz
 映像・音響・デジタルデータのソースプログラムービジュアルインスタレーションを行うアートユニットデジタルデータのロミックスライブパフォーマンスを加えた映像インスタレーションを試行(2004～)オブジェクトのデジタルコラージュされたデータと音響を無関係に併置しながら、各ソース提供作家の作品を映像化させるシステムを構築。今回はランダムセレクトプログラム投入予定プロジェクトー投射インスタレーション展示予定10月の企画にはマテリアルディティール(ソースとされた作家作品)を空間に表象化予定オブセコンテンポラリー映像インフラ開発担当/代表 町田哲也(オブセコンテンポラリー実行委員) オブセコンテンポラリーインフォメーションシステム 2004,2005境内アート参加



中村仁 Jin NAKAMURA
 美術家◎1959／長野県生まれ 1984／信州大学教育学部美術科卒 1987／鍍金工房「鏡」設立 8th 日本グラフィック展協賛企業賞受賞/日本イラストレーション展入選 1994／劇団嵐の子(東京)公演作品「たまごの中から」舞台美術担当 1997／演劇グループ21ハンガリー公演(舞台美術) 1998／中村仁の仕事展 絵本の世界から(千曲川ハイウェイミュージアム) 2000／第1回イルピエンナーレ児童大賞入選 2001／工房からの風Craft in Action(ニッケコルトンプラザ/千葉) 2003「親と子のお茶碗展(OZONE/東京) 2004／個展 銀座琢瓦画廊(東京) うつわ菜の花(小田原) 2005／瀬戸で生まれたほろろ-21世紀モダニズム展(瀬戸) 桜きぼろミュージアム 2006／「版画の魅力」二人展/スペース・アルテミス(東京) 個展銀座琢瓦画廊(東京) アッシュアール(長野)／TRIO DI ARTISTI DELLA MOSTRA D'ARTE CONTEMPORANEA、BOTTEGA 27(イタリア・ルッカ)／他個展・グループ展多数/長野県在住◎04,05,06,07境内アート参加/オブセコンテンポラリー実行委員◎http://jin-n.jp

CHIKUMA-RIVER SIDE ART SEMINAR
美ViVa場
 もっと美術を学びたい、知りたい、理解したい…いい作品を作りたい。テーマも到達点も人それぞれでOKです。企画展に出品する作家とオブセコンテンポラリー実行委員が講師をつとめ、アーティスト自らが現在抱えているテーマや課題を元に講座を構成します。現役の作家のみさんと感性と技術の交感を通して、よりアートの楽しさを分かち合いたい方、ぜひご参加ください。

- 期間：前期／2007年5月～7月の3ヶ月間／毎週土曜日／12回 後期／2007年9月～11月の3ヶ月間／毎週土曜日／12回
- 時間：10:30am～4:30pm(途中昼休み1時間)
- 定員：前期・後期とも各30名／定員になり次第締めくり(受講者は3ヶ月間12回の講座を通して受講してください)
- 受講料：18,000円(12回分／材料費等の実費は別途) *受講料は前納です。納入後の受講料はお返しできません。
- 会員特典：受講期間中の企画展入館無料
- 申し込み方法：下記申し込み用紙にご記入の上、FAXかミュージアムへ郵送してください。ホームページよりプリントアウトすることもできます(閲覧にはAcrobat Readerが必要)。先着順にこちらからお手続きのご連絡をさしあげます。(尚、応募者が定員を上回った場合は抽選となります)

■講座内容：詳細はミュージアムWebサイトにて都度公開していきます。基本的には企画展に参加・出品している作家が期間中にそのテーマに沿った講座を行います。(例：銅版画・木版画・リトグラフ・彫刻・ドローイング etc.) また実技に加えて、作家によるアーティストトーク(作品解説)や観賞会なども。
 *8月の夏休み期間には親子で楽しめる“ワークショップforキッズ”も予定しております。

“美術講座 美場(ViVa)おぶせ”申し込み用紙

ふりがな	
氏名	
年齢	<input type="checkbox"/> 小学生以下 <input type="checkbox"/> 10～20代 <input type="checkbox"/> 30～40代 <input type="checkbox"/> 50～60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
職業	
電話番号	
ファックス番号	
E-mail	
住所	〒
ご希望の期間	<input type="checkbox"/> 前期(5,6,7月) <input type="checkbox"/> 後期(9,10,11月)
*よろしかったら申し込みの動機をお願いします。	

*作家掲載順不同/スペースの都合上、すべてのプロフィールを掲載できていない作家もあります。詳細情報はオブセコンテンポラリーWebサイト (http://obusecontemporary.com) アーティストデータをご参照ください。

美術講座美場 (ViVa) おぶせ実習室 Work Shop Studio

オブセコンテンポラリー参加作家が企画展会期中1講座を担当し、作家自身が抱えているテーマや課題を受講者のみなさんと一緒にワークショップ形式で試行制作するアートセミナーです。現役の作家の発想の舞台裏をちょっとのぞいてみませんか？
また銅版画やリトグラフなどのアート表現の技術も体験できます。

ミュージアムショップ

企画展参加作家提供による、オリジナルのアートグッズ(版画・ポストカード・ポスター・書籍・DVD・オブジェ・アクセサリー・うつわ etc.)を販売するアーティストショップ。

企画展示室-3

Gallery Space-3

オブセコンテンポラリー実行委員会では、ミュージアム独自の年間企画以外に、このスペースを利用して作家のみなさんに広く企画を公募し、発表の場として無償提供することで新しい作家の発掘に努めます。また美術講座受講者のみなさんをはじめ、美術を愛好する方々の作品発表の場としても活用していきます。

企画展示室-2 (映像室)

Gallery Space-2

オブセコンテンポラリー参加作家の作品・作家プロフィールなどをアーティストデータとしてアーカイブ化し、作家の情報を閲覧できるスペース。(同時にWebサイトでもご覧いただけます)
また企画展により映像作家のインスタレーション・展示空間としても利用します。

プロジェクトポリシー

固有で単独の魅力あるアーティストの脆弱性は、本来的な制作の姿勢と営みが、決して枯渇することのない力強い創造の欲望に真摯に従う程、時に社会的な概念規範から逸脱し、時に需要生産性の必然から遠く離れ、ぽつんと立ち尽くすしか無いというところに在ります。しかし、こうした存在の揺らぎを経て成熟する表現の数々は、遠い過去を蘇らせ、あるいはまた未来を現前させる力を持ち、私たちの日々の暮らしを様々に変容させてくれます。我々は、この場所を、アーティストの社会への再接続構築の現場と捉え、単なる作家作品紹介・作品販売にとどまるのではなく、「なぜ、その人はそれをつくったのか」「わたしたちはそこから何を受け取るのか」「その表現を現在の社会に*ブラグイン・リノベーション(アートの実務的社会的活用)できないか」「アーティスト・ネットワークで何か可能か」と敢えて問いかけ、その答えを探る仕方で、具体的な機能へ変換する試みを実現したいと考えています。
信州・小布施に産声をあげたアーティストプロデュースの美術館へ是非一度足をお運びください。

オブセコンテンポラリー実行委員会

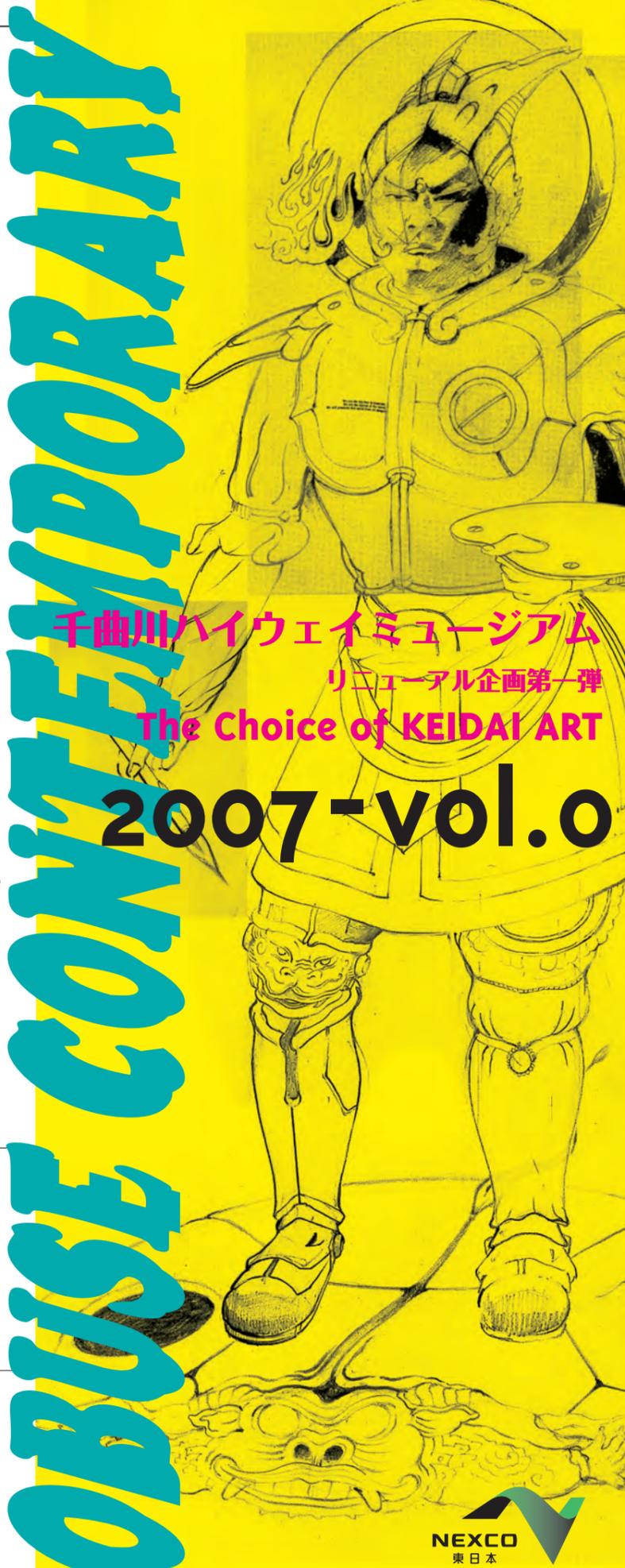


■上信越自動車道/おぶせスマートインターより0分 (ETC装着車のみ)
信州中野ICより車で10分 ■長野電鉄/長野↔小布施間30分
小布施駅より徒歩20分 (町内周遊シャトルバス有り)

千曲川ハイウェイミュージアム



長野県上高井郡小布施町大字大島
開館: 午前9時~午後6時 (10月~3月は閉館時間が午後5時となります)
入館料: 大人¥300・高校生¥150・中学生以下無料
TEL.026-247-6600 FAX.026-247-6611
E-mail: info@obusecontemporary.com (お問い合わせ一般)
E-mail: system@obusecontemporary.com (サイトに関するお問い合わせ)
URL: <http://obusecontemporary.com>



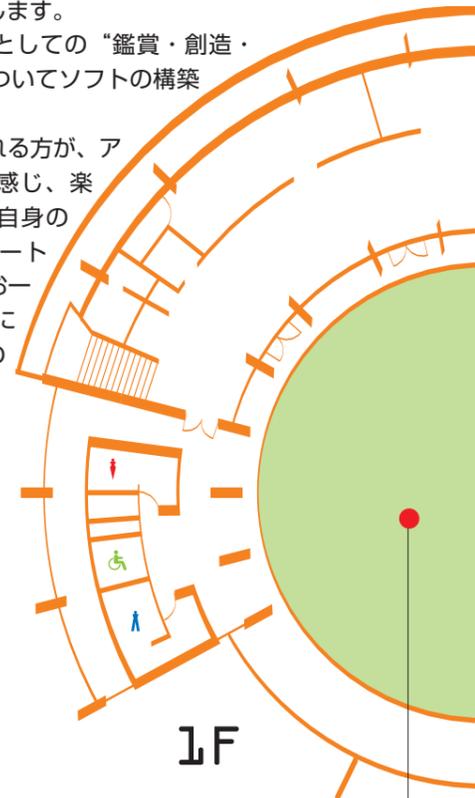
**千曲川ハイウェイミュージアム
リニューアル企画第一弾
The Choice of KEIDAI ART**

2007-vol.0



[基本理念]-concept

千曲川ハイウェイミュージアムは“暮らしの中心にアートを”をキーワードに、その実現のためのベースキャンプとして、住民参加型美術館を目指します。
実現のための機能としての“鑑賞・創造・発信”それぞれについてソフトの構築と発掘に努めます。
この機能を体験される方が、アートをより身近に感じ、楽しみ、そして自分自身の眼で日常の中にアートを発見し、お一人お一人の人生が創造性に溢れた豊かなものになるように、という願いを基本方針に据えます。



屋外円形広場

ミュージアム中央、芝生の円形広場です。お芝居や野外コンサートなどに利用可能。(利用ご希望の方はお問い合わせください)

Free Space

企画展示室-1

オブセコンテンポラリー実行委員会が提案する企画展示スペース。

Gallery Space-1

2007年度企画展予定

- 4/7→5/8◎オブセコンテンポラリー vol.0
[境内アート選抜作家展 The choice of KEIDAI ART]
2004~2007年までのアートフェスティバル境内アート苗市in玄照寺参加作家の中からファインアート系の作家を選抜しての作品紹介
- 5/11→6/12◎オブセコンテンポラリー vol.1
[版画の魅力]
各種版画技法を駆使した版画作家の作品紹介
- 6/15→7/17◎オブセコンテンポラリー vol.2
[インスタレーション]
素材・空間を自在に構想するインスタレーション作家作品の紹介と展示
- 7/20→8/29◎オブセコンテンポラリー vol.3
[動物に魅せられた作家たち]
作品のモチーフを動物に求めた作家たちの作品紹介
- 9/1→10/9◎オブセコンテンポラリー vol.4
[ARTと素材]
素材による様々なアート表現の可能性を探る
- 10/12→11/28◎オブセコンテンポラリー vol.5
[映像と音響の空間構築によって“記憶”の意味を問う]
平面・立体・映像・インスタレーション・インタラクティブデバイス
- 12/1→3/30◎オブセコンテンポラリー vol.6
(詳細未定)

2F

上信越自動車道おぶせパーキングエリア